

平成7年1月～平成28年6月までに当センターにおいて

病理解剖をお受けになった患者さんのご遺族の方へ

(1) 研究の概要について

当センターでは東北大学薬学部と共同で「薬物動態関連遺伝子多型とがん発症リスクとの関連解析」を実施しております。

がんは遺伝因子と環境因子の両者が複雑に関連して起こると考えられています。環境因子の一つとして、喫煙が種々のがんの発症に関係していることは良く知られた事実です。しかし、喫煙者が同じように発がんリスクを持っているわけではありません。タバコの煙の中に含まれる有害物質を代謝する酵素の働きは個人ごと異なりますが、この酵素の働きを決めているのが遺伝子多型です。この遺伝子多型と種々のがんの発症との関連を検討する予定です。

具体的には平成7年1月～平成28年6月までに東京都健康長寿医療センター（旧東京都老人医療センターを含む）で病理解剖された方が研究の対象となります。病理解剖のご承諾の際に遺伝子検査を含む医学研究へのご協力にもご承諾いただいておりますが、改めて研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加をご希望されない場合や、また研究に関するご質問がある場合には、下記の問い合わせ先へご連絡ください。

研究題名：「薬物動態関連遺伝子多型とがん発症リスクとの関連解析」 「承認番号：第 ○○ 番」

（○○は承認後に記入）

研究期間：承認後から平成31年3月31日

主任研究責任者：東京都健康長寿医療センター病理診断科・部長 新井富生

研究実施責任者：東北大学薬学部生活習慣病治療薬学分野・教授 平澤典保

研究実施責任者：東北大学薬学部生活習慣病治療薬学分野・准教授 平塚真弘

(2) 研究の意義・目的について

タバコの煙に含まれる有害物質を代謝する酵素の活性をコントロールする遺伝子多型とがん発症リスクを明らかにすることにより、喫煙によりがん発症リスクが高くなる人、喫煙してもがん発症リスクが変わらない人が明らかになります。これらのことが分かると、リスクの高い人には生活習慣の改善を勧めたり、早期発見に努めるよう検診を受けるよう助言することができるようになり、がんの予防、早期発見につながります。

(3) 研究の方法について

通常、病理解剖中に採取した組織からDNAを抽出して、調べようとする遺伝子の塩基配列を明らかにし、がん発症との関連を統計学的に検討します。

#### (4) 資料の保管と、他の研究への利用について

本研究を行うときには、個人情報とは完全に分離した形で扱っておりますので、患者さんの個人情報が漏れる心配はありません。また、国内外に研究の成果を論文・学会等で発表する場合も、個人の特定はできないようにしております。他の研究への利用はありません。なお研究終了後のデータの扱いについては、論文の根拠となるデータは発表後10年間は保管します。保管責任者は主任研究責任者とし、保管場所については東京都健康長寿医療センター及び東北大学薬学部の実験室における所定の棚において施錠可能な状態で保管します。

#### (5) 問い合わせ先

##### ①東京都健康長寿医療センターの問い合わせ先

東京都健康長寿医療センター病理診断科 新井富生

〒173-0015 東京都板橋区栄町 35-2

電話 03-3964-1141 内線 2410 (平日 9:00~17:00)

##### ②東北大学の問い合わせ先

東北大学薬学部生活習慣病治療薬学分野・准教授 平塚真弘

〒980-8578 仙台市青葉区荒巻字青葉6-3

電話：022-717-7049 (平日9:00~17:00)